
所 属 : 芸術学部 デザイン工芸学科 染織造形分野
職・氏名 : 准教授 野田 睦美
研究キーワード : 芸術、染織、現代織物

■研究テーマ

① テーマ：現代織物による芸術活動

概要：古来より、人は糸を作り、労働によって織物を作ってきました。織物とは糸を構築していくことであり、糸と労力の集積です。つきつめれば、「糸」か「労力」かです。しかし、私は糸による特長を生かしながら、糸ではないような糸、織物ではないような織物で、見る人・場・光を予測し、現代人に共鳴する作品を創造するという新しい分野の可能性を求めて、学術的な考察をもとに創作していきたいと考えています。

② テーマ：織物の研究

概要：日本とフランスの美術織物を中心に、繊維、染料、染色、撚糸、製織などについて研究し、作品が置かれる物質的環境及び作品を取り囲む人との関係を探求しています。

■研究テーマの応用例

主な収蔵先

タキイ種苗株式会社本社（京都）、タキイ種苗株式会社福岡支店（福岡）、医療法人恕泉会リハビリテーション病院すこやかな杜（高知）、社会福祉法人向日春秋会特別養護老人ホームサンフラワーガーデン（京都）、医療法人社団哲樹会介護老人保健施設まゆみの里（香川）、T. A. 氏邸（滋賀）等

■主な著書、発表論文

- ・「まなごしに共鳴する芸術-見る人・場・光を予測して」、京都市立芸術大学学位論文(博士), 2008年.
- ・「染織α-特集タペストリーへの誘い」、染織と生活社, 2005年12月号, pp. 12-15.
- ・『現代日本の衣匠 vol. 2』, ARTBOX インターナショナル, 2008年, pp. 106-107.
- ・『現代美術の断面』, 京都国際芸術センター, 2004年, p. 137.
- ・「染織春秋」, 2003年, 八宝堂, p. 14.

■主な特許、芸術作品等

- 2016年 創立70周年記念琳派400年記念京都工芸美術作家協会展（京都文化博物館）
- 2015年 文化庁新進芸術家海外派遣選抜展第18回 DOMANI・明日展-未来を担う美術家たち（東京・国立新美術館）
- 2014年 堅機タピスリー上級技術特別研修客員（フランス・モンサンミッシェル）としてモンサンミッシェルで制作, 展示
- 2013年 「DEEP REALITY」展（フランス・École Nationale Supérieure des Beaux-Arts de Paris）
作品『Mutsumi et Paris』
DIGITAL WORLD FESTIVAL「FUTUR ENSEINE」（フランス・104cent quatre paris）作品
『Toutes ces gouttes, un océan』と制作過程が上映される、実演を行う
- 2012年 文化庁新進芸術家海外研修員認定、École Nationale Supérieure des Beaux-Arts de Paris（パリ国立美術高等学校）において現代美術と美術織物の研究
ゴブラン織の資格取得
- 2011年 財団法人京都市芸術文化協会選抜展（京都芸術センター）
- 2010年 第32回京都工芸美術作家協会展（京都府立文化芸術会館）（以後毎年出品）
- 2009年 第64回新匠工芸会展『自らを洲とし』「会友賞」受賞（2010年会員, 2011年運営委員）
西陣織伝統的工芸品秀作展（京都西陣織会館）、第8回芸術祭国際招待展（韓国・江陵市美術館）等

■想定される連携先

地方自治体、研究機関、教育機関、医療機関、文化財団、染織関連の企業、建築関連の企業、伝統工芸、ファッションデザイン、インテリアデザイン